

校長室だより
NO. 44
平成30年12月21日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高 須 亮 平

2学期の確かな成長 それはまわりとのかかわりが自信へ

本日は2学期の終業式です。終盤にインフルエンザが流行し、感染防止のため一部の学級で学級閉鎖や午前みの授業としたり、集会を体育館ではなく放送による学級単位のものにしたりしてきました。今後も広がる可能性がありますので、冬休みになっても十分注意した生活ををお願いします。

さて、今回は、2学期の最後ということで、2学期の子どもたちの成長について、指導記録に記してもらいました。その中に多く見られたことは、子どもの成長は、まわりとのかかわり合いや、その中で認められることにより、それが子どもたちの自信になって、それぞれの活動に生かされているということでした。そのことは、これまでの指導の成果でもあります。その一部を紹介します。

○ 1年の学級担任の指導記録

2学期は自分のことだけでなく、友達のことを目を向けられる子が多くなりました。特に、フェスティバルを終えた後、「秋あそび」の学習の振り返りを書かせました。すると、あるグループのリーダーの子が、自分のグループ一人一人の子のいいところをびっしり書いてきました。その文章から、本当に活動中もまわりの子のことをよく気にかけて見ていたことを感じることができました。また、他の子も「○○ちゃんのおかげで」とか「ありがとう」というような感謝の言葉もあり、読んでいて心が温かくなりました。日々の生活の中でも、例えば、給食の準備中に誰かがお汁をこぼしたり、スプーンなどの食器をばらまいてしまったりしたときに、近くの子がか



フェスティバルでの発表(1年)

○ 2年の学級担任の指導記録

2学期の子どもたちの成長は、自信を付けた子が多かったことです。全体的に授業中の発言が多くなったり、いい行いを積極的にする子が増えたりしました。1学期あまり挙手しなかった何人もの子が、かけ算の暗算チェックで合格したことなどで、自信を持ってどの教科でも挙手するようになりました。それは、個々の努力やがんばりを認めるように自分が努めたことが効果があったように感じています。授業の準備をしたり、きちんとした姿勢の子をほめたりしました。これらはとても効果があり、3学期も子どもたちの成長を支えるために続けていきたいと思えます。また、子どもの成長について、いろいろな面で目に見えて変わる変化がありました。その原因を探してみると、友達が増えたことや、まわりの子から教室の中で自分が認められることが増えたことでした。そのことで、子どもは安心して学校に来られると思えました。3学期も続けていきます。

○ 5年の学級担任の指導記録

学芸会、山の学習、フェスティバル等の合間に授業が進んだ2学期でした。山の学習をはじめ、いろいろな行事で子どもたちは大きく成長してきました。その2学期が終わる3週間前、MAXが学級会を開き、3学期へ向けて2学期のうちにできることを話し合いました。「最近、発言をする人が偏っている」などの意見が出ました。発言に関して私も気になりましたので、発言回数などの生活の



山の学習での飯盒炊さん(5年)

けじめがつけられるようなミニカレンダーを作り、子どもたちに配ってみました。ミニカレンダーに「正」の字で数えていくことで、子どもたちは視覚的に自分の1日の授業を振り返り、少しでも多くの「正」の字を付けようと一生懸命に授業中、挙手するようになりました。たった1つの工夫で、本当に多くの子が授業に積極的に取り組むようになりました。3学期も子どもが目標を持って学校生活を送ることができるように工夫していきたいです。

○ 特別支援学級の学級担任の指導記録

2学期はどの子ども1学期以上のがんばりを見せてくれました。支援級の子どもどうにかかわり合って思いを高めることは難しいと感じていましたが、それは違うことと分かってきました。Aさんは、意識が大人から学級の友達とのかかわりに広がっていました。Aさんのおかげで、他の子どもたちはお手本を見せて仲良くなろうという思いをもつことができました。また、そのことで、それぞれが苦手なことを克服しようとしたり、自分への挑戦をしたりすることができるようになりました。Bさんは、体育で鉄棒に挑戦しました。やったことがないことに挑戦すると、まわりからの助けもあり、他の学習でも自分でやってみたいという意欲となっていくように思います。それが、マラソン大会やかけ足に張り切って参加する姿となりました。友達とのかかわり合いにより、Cさんは体育交流授業に休まず参加できましたし、Dさんは自分で気付いて動けるようになり、交流授業の予定もきちんと確認し準備できるようになりました。Eさんは、漢字や英語に興味を持って、毎日こつこつ学習を続けることができました。それぞれの2学期のかかわり合いを通したがんばりをほめて自信につなげたいと思います。

2学期の冒頭に「人のことを大切に聞く」ことを2学期の目標にしてきました。全般的にはまだ十分ではありませんが、その姿は徐々に現れてきています。その1つが「ふわふわの木」の活動の広がりです。上にあげた指導記録も例外ではありません。

1年・2年の学級担任の指導記録からは、子どもの成長がまさにまわりから認められることによるものであることが分かります。このことが、安心できる生活につながり、次は友達への思いやりの姿につながってくると思います。5年生の学級担任の指導記録からは、現状を振り返り、よりよくするために自分たちとして何をすべきか前向きに考える高学年らしさを感じます。子どもと教師がともに創意工夫をしながら、かかわり合い歩んでいることが分かります。特別支援学級の学級担任の指導記録は特にうれしいものです。子どもたちは、学校生活でかかわり合って生活しています。そのことが目に見えるようになってきたことを表しています。

このような2学期の子どもたちの成長は教師の努力もあります。それだけではなく、ご家庭のご協力も多々あります。この成果を3学期につなげていきたいと思っています。

喜びの表彰の記録 その4

10月の初めからスタートした表彰の記録のお知らせです。12月になってもまだまだ続いていて、これで4回目となります。このようにうれしいことが続いてくるのは、学校としてとても大きな喜びです。

2学期終業式時点での記録を紹介します。子どもたちのがんばりがすばらしかったことが分かり、また、保護者の方々のご支援には感謝しています。

- 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト出場
チャレンジ創造コンテスト地区大会 準優勝
木原 遼己（4年4組）

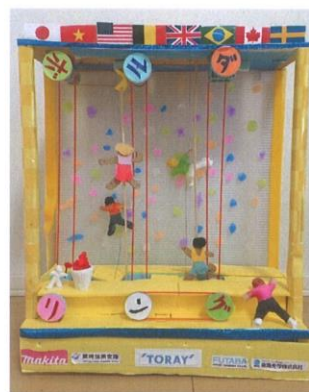
- 全国書画展覧会

〔画の部〕

筆都大賞 島 遥日（6年1組）
特選 萩原 彩結（4年1組）
橋本 京佳（5年10組）

〔書の部〕

特選 深田 智生（6年1組）
青木 玲蘭（6年3組）
吉原ゆみ菜（6年4組）
鈴木さくら（5年4組）
鈴木 咲結（2年1組）



木原君の作品「がんばれスポーツ」

- MOA美術館児童生徒作品展
〔絵画の部〕
MOA美術館奨励賞 中本みずき（6年1組）
銅賞 羽根田歩明（1年4組）
- J A共済小中学校交通安全ポスターコンクール
佳作 井上 和（4年2組）

今回の表彰は、全国レベルのものであります。中でも、4年の木原遼己君は、11月に全国コンクールに出場し、からくりの動くおもちゃを発表してきました。上の写真が木原君が作った「がんばれスポーツ」というものですが、右ページの写真のように、他の学校の2人の子の作品と連結して1つの作品として発表しました。

上の写真が木原君の作品です。それは、ボルダリング（人工の壁面などを登るスポーツ）の競技の様子をからくりの動くおもちゃとして表現しました。いろいろなものが動く中で、まず、選手が上へ登ったり、降りたりする動きは、磁力を利用してうま

く工夫しています。また、写真上部の「ボルダリング」の文字はプーリー（滑車）を利用して回転させています。なかなかおもしろい動きをするおもちゃです。その様子が動画として、次のサイトで見ることができます。是非ご覧ください。

〔動画のサイト〕

kids.jiii.or.jp/modules/gnavi3/index.php?lid=1998&cid=9

このような工夫はいろいろなところで活用できますので、これが、生活の中で生きて働くようになるといいですね。すばらしいがんばりに拍手を送ります。

その他たくさんの子たちが表彰を受けています。本当におめでとうございます。



木原君(右)と一緒に全国大会に出場した子とその作品

たくさんのぞうきんを寄贈していただきました

12月10日(月)の月曜朝会で、学区女性の会の皆様より、たくさんのぞうきんを贈呈していただきました。写真のように、簡単な贈呈式を行い、女性の会の方々から子どもたちへ渡してもらいました。

このぞうきんは、女性の会の皆様の手作りで、段ボール4つ分もの量をいただきました。このようなことは、毎年行っていただいています。女性の会の方々にはたいへんな作業であったことと思います。本当にありがたく思うとともに、学校で有効活用させていただきます。



月曜の集会で寄贈していただきました